



お客様向け スマートアカウント・スマートライセンス概要

Cisco Systems

Digital Transformation/GSSE/GPO

2017年6月

スマートライセンス、スマートアカウントの理解

スマートライセンスとは？

エンドユーザーのライセンス管理を効率化する新たなソフトウェア提供方式

従来の PAKライセンス

HW(シリアル)に固定
リホストが面倒

個人の CCOIDで管理
個人に負担

個別に紙、PDF管理
期限切れに気づかない

発注後、手動で PAKを
登録してトークン生成



スマートライセンス

オンラインでリホスト可能
スピーディ & フレキシブル

会社のアカウントで管理
みんなで一覧

クラウドで一覧性
期限切れのアラート

発注時に振り込み先の
スマートアカウントを指定
するだけ(PAK不要)

お客様のメリット

無駄な投資の削減
ダウンタイムの短縮

全社ライセンス一元管理
管理権委任で工数削減

ペーパーレス
シンプルな期限管理

手動登録の工数削減
オンラインで Activate

スマートアカウントとは？

シスコが提供するライセンスの一元管理を可能にするアカウント



スマートアカウントにログイン
CSC
(Cisco Software Central)



PAKの管理
LRP

(License Registration Portal)



スマートライセンスの管理
SSM

(Smart Software Manager)



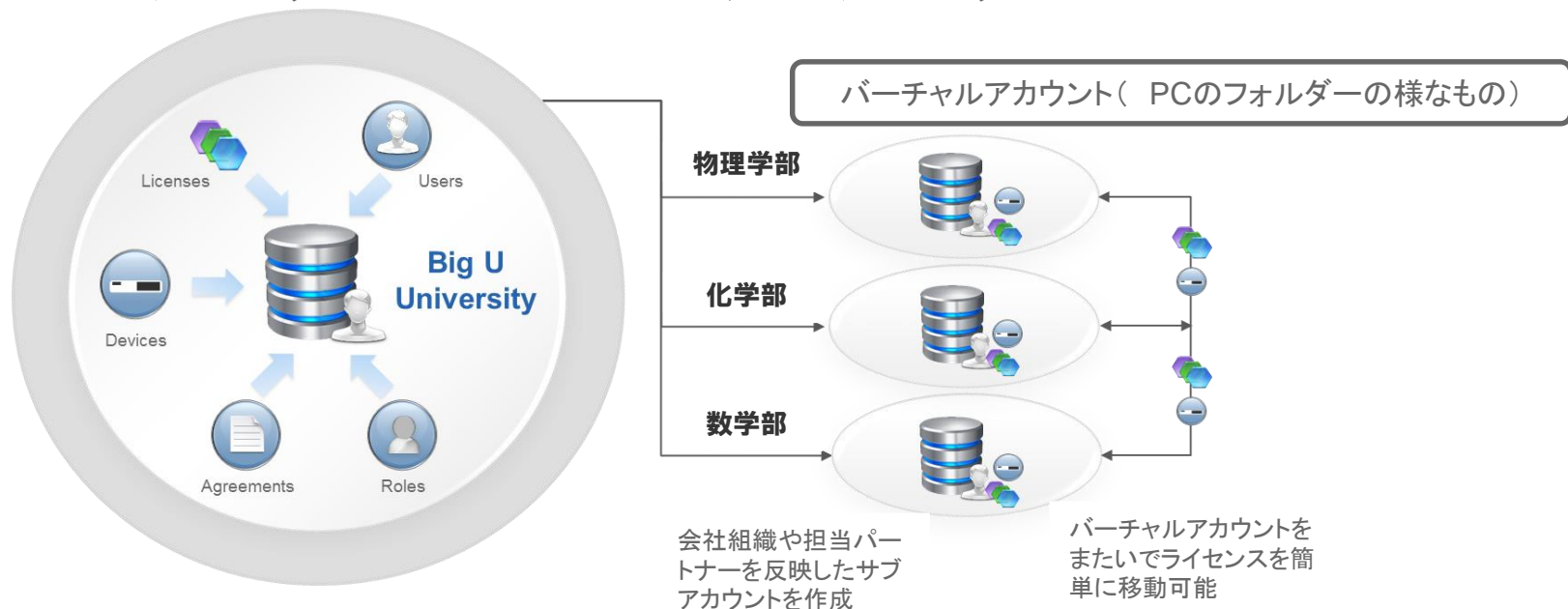
EAの管理
ELA Work space

- エンドユーザは会社で1つのスマートアカウントを作成します。
- アカウントを管理／参照するには各自CCOIDを登録して、アカウント管理者がユーザとして追加します。

将来管理項目

- ✓ サービス契約
- ✓ 購入履歴
- ✓ 他

スマート アカウントとバーチャルアカウント



カスタマー スマート アカウント

スマートライセンスや従来のライセンス (PAK) が保存されるアカウントです。ライセンスは、エンドカスタマーが直接管理するか、チャネル パートナーまたは認可された関係者が管理できます。

必要となる対象者: 自社で使用するために製品を購入するすべてのエンドカスタマー

複数パートナーに管理を任せるには

SA(スマートアカウント) xyz-manufacture.com

ロール	アカウント管理 ・ VA追加 ・ User追加	ライセンス管理 ・ 機器Activation ・ PI削除	アカウント契約承認 ・ 契約更新承認
SA Admin	✓	✓	✓
SA User		✓	
SA Approver			✓



- ・ エンドユーザが自社でライセンスを管理するか、またはパートナーに特定の VA管理者権限を付与することも可能
- ・ アカウントを管理/参照するユーザは各自 CCOIDを登録して、アカウント管理者がアクセス権限を付与します。

VA(バーチャルアカウント): Bdg1

ロール	VAアカウント管理 ・ User追加	VAライセンス管理 ・ 機器Activation ・ PI削除
VA Admin	✓	✓
VA User		✓



ライセンス

ライセンス

ライセンス

....

VA: Bdg2

VA Admin
VA User



ライセンス

VA: Bdg3

VA Admin
VA User



ライセンス

....

特定のVAアカウント・ライセンス
管理権限を各パートナーに付与

Partner A



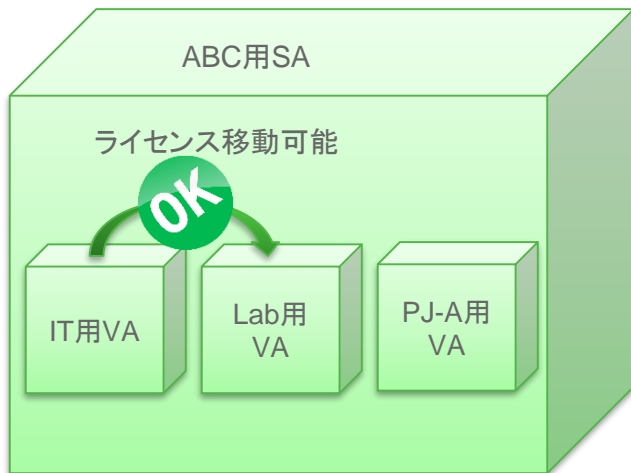
Partner B



1社で複数のスマートアカウントを作成

- ・ エンドユーザは会社(組織体)で1つのスマートアカウント(SA)を作成します。
- ・ SAにはユニークな管理IDとしてドメイン名を紐づけます。(通常SA作成者のメールアドレスのドメイン名)
- ・ VA(バーチャルアカウント)間でライセンスの移動は可能ですが、SA間でライセンスの移動はできません。
- ・ スマートアカウントを統合・分離するには、シスコのサポートチームの承認と作業が必要です。
- ・ 1社で複数SA作成時はドメイン名をそのまま使用せず、prefix(サブドメイン名)を付けます。

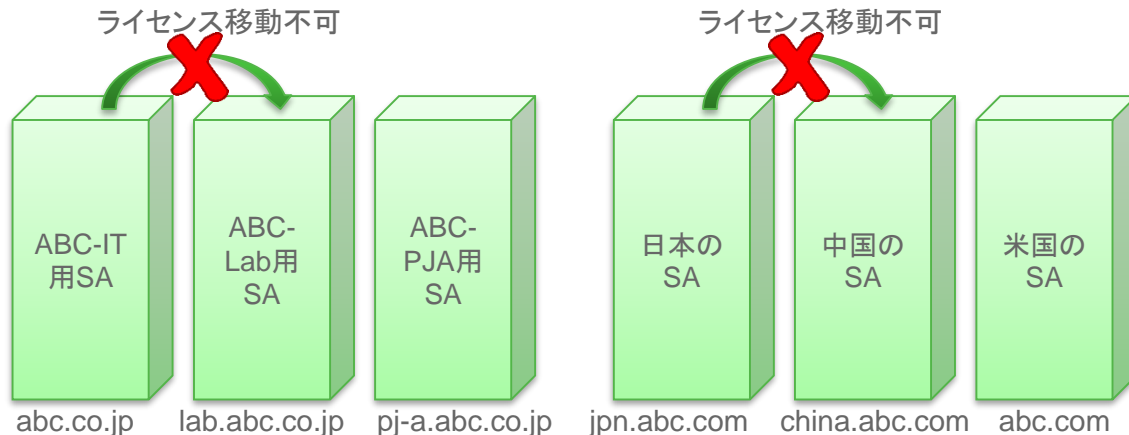
標準的な会社



ドメイン名: abc.co.jp



大規模な会社、組織ごとに予算管理が別の会社、グローバル展開の会社など



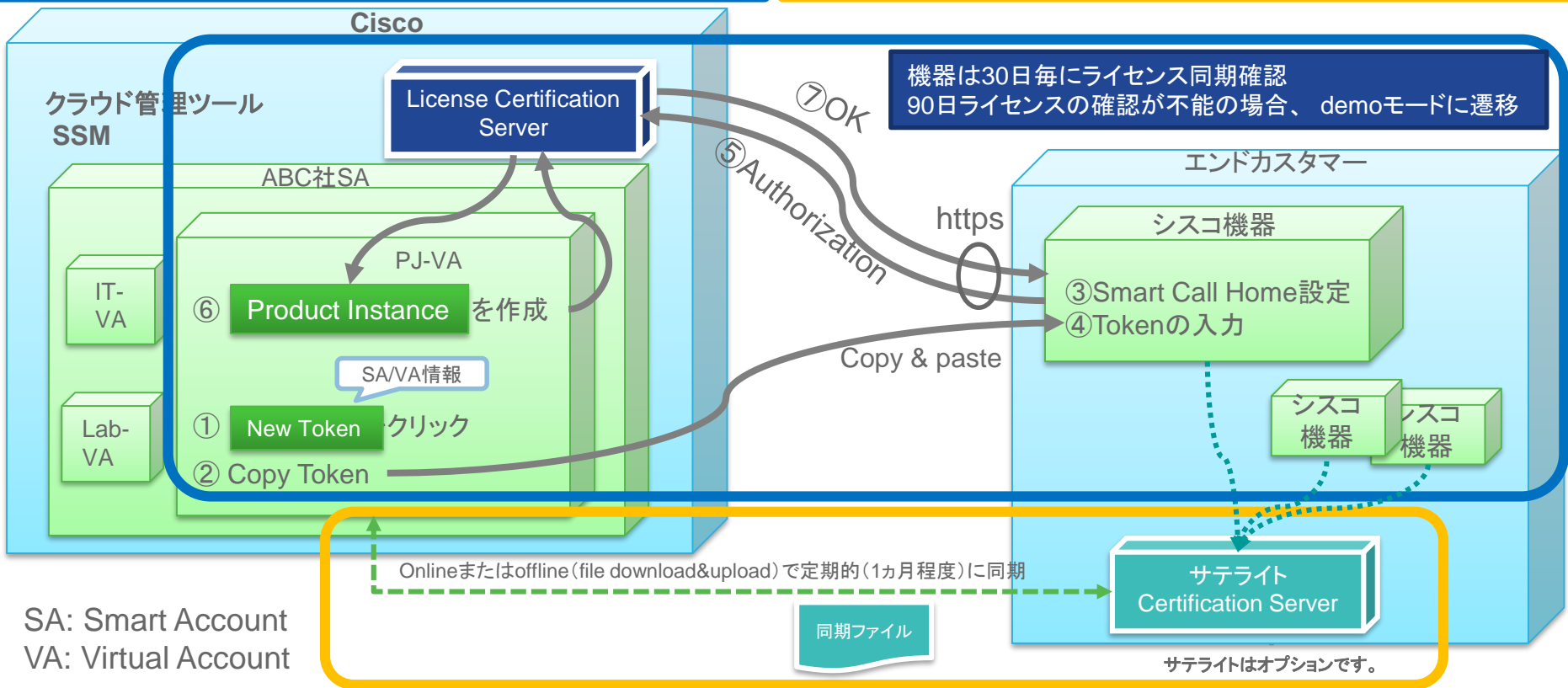
ライセンスアクティベーションと定期的同期(2つの方法)

方法1: インターネットダイレクト接続(標準)

- 機器とライセンスサーバ接続時、HTTPS Proxyが使えます。
- 機器は定期的に License Certificationに通知します。
- プロトコルは httpsの outboundのみです。

方法2: サテライトソリューション(インターネット接続不可の場合)

- 無償のサテライトサーバを使用可能です。(Vmware, hyper-V, KM対応)
- お客様の機器はインターネット接続する必要がありません。
- サテライトサーバは 30日毎にSSMと同期することが必要です。



スマートアカウントの作成

スマートアカウント作成の準備（必要な情報）

カスタマーアカウントを作成するには以下の情報が必要です。

用意いただく情報	説明
CCO IDとEメールアドレス	Cisco Software Central (CSC)へログイン時に必要です。CCO IDはゲストレベルでOKですが、登録Eメールアドレスが会社アドレスである事が必要です。
スマートアカウントのドメイン名	会社のEメールアドレスのドメイン名を利用します。1 つの会社が複数のアカウントを作成する場合はprefix(サブドメイン)を付けます。例: japan-lab.cisco.com
スマートアカウント名	会社名を使用します。
本社の住所（英語）	CCOIDで登録済みの場合はデフォルトで採用されます。

- [シスコ スマート ソフトウェア ライセンシング 日本語資料掲載サイト](http://www.cisco.com/c/ja_jp/products/cloud-systems-management/smart-software-licensing/index.html) :
- [スマートアカウント作成のためのクイックレファレンスガイド](http://www.cisco.com/c/dam/global/ja_jp/products/smart-software-licensing/literature/j-getting-started-with-smart-accounts-for-end-customers-v7.pdf)

カスタマー スマート アカウントの標準的な作成手順

カスタマーアカウントの作成は以下の2ステップで完了します。

1. スマートアカウントの申請(アカウント申請者)

- ・ アカウントオーナーとなるお客様ご自身で申請します。
- ・ アカウントオーナーとは別の方(パートナーなど)が申請のみ行うこともできます。

2. スマートアカウントのセットアップ(アカウントオーナー)

- ・ アカウントオーナーとなるお客様ご自身が操作します。

- ・ CCOIDを所持するお客様が申請およびセットアップを続けて行うと10分程度で完了します。
- ・ 申請者とアカウントオーナーが別の場合、アカウントオーナーにメールが届きます。メール内のURLリンクをクリックしてセットアップを開始できます。
- ・ アカウントオーナーのCCOIDのメールアドレスのドメイン名とスマートアカウントのドメイン名を違うものにする場合、英語によるシスコサポートチームとのメールによる理由の確認が必要です。詳細は[こちら](http://www.cisco.com/c/dam/global/ja_jp/products/smart-software-licensing/literature/j-create-smart-account-edit-account-domain-identifier-2016.pdf)(http://www.cisco.com/c/dam/global/ja_jp/products/smart-software-licensing/literature/j-create-smart-account-edit-account-domain-identifier-2016.pdf)をご参照ください。

お客様自身が申請とセットアップの両方を実施する手順を説明します。

Cisco Software Central (CSC)

スマート アカウントの申請とセットアップ – CSCへアクセス

- 1 Cisco Software Central (CSC) – software.cisco.com へアクセスし、CCOIDでログインします。
- 2 スマートアカウントを作成するには、[スマートアカウントのリクエスト(Request a Smart Account)] をクリックします。

Cisco Software Central

日本語 [変更] こんにちは [ユーザー名] Cisco Demo Smart Account

注文 ダウンロード & アップグレード プロビジョニング ライセンス 管理者

ダウンロード & アップグレード

ソフトウェア ダウンロード
新しいソフトウェアまたは既存のソフトウェアのアップデートをダウンロードします。

eDelivery
ソフトウェア、ライセンス、ドキュメントを迅速に電子発行することが可能です。

Product Upgrade Tool(PUT)
ユニファイドコミュニケーションなどのソフトウェアのメジャーアップグレードを実行します。

アップグレード可能なプロジェクト
利用可能なすべてのソフトウェアアップデートのリストを参照できます。

ネットワークプラグアンドプレイ

新しい

NetP Connect
NetP Connectポータルによるデバイス管理

ネットワークプラグアンドプレイの詳細
トレーニング、ドキュメンテーション、ビデオ

ライセンス

従来のライセンス
PAKベースと他のデバイスライセンスの生成と管理 (デモライセンスを含みます)。

スマートソフトウェアライセンス
スマートソフトウェアライセンスのトラッキングと管理

エンタープライズ ライセンス契約
エンタープライズライセンス契約のライセンスを生成および管理します。

注文

シスコから直接購入
シスコの製品、ソフトウェア、サービスの構成、価格設定、発注を実行できます。直接購入契約に準拠してご利用いただけます。

エンドユーザーライセンスおよびSaaS契約
シスコソフトウェアは、提供されるのではなく、登録済みエンドユーザーに対してライセンスが提供されます。指定された条項および条件は、該当するソフトウェアの使用において適用されます。こちらよりご確認ください。

管理

すべてのユーザ

スマートアカウントのリクエスト
組織のスマートアカウントを取得するか、他のスマートアカウントを作成します。

スマートアカウントへのアクセスリクエストを送信します。

スマートアカウントの管理
スマートアカウントのプロパティを変更したり、他のスマートアカウントとスマートアカウントを関連付けたりすることができます。

スマートアカウントについて学ぶ
ドキュメントおよびトレーニングにアクセスできます。



CCOIDのプロファイルで
使用言語を日本語にして
おくと CSCは日本語表示
となります。

Cisco Software Central (CSC)

スマートアカウントの申請とセットアップ – オプションの選択(はい(Yes)を選択した例)

1 会社を代表してアカウント作成者となり、アカウントの開設をする権限を持っている場合は、[はい (Yes)] を選択します。

2 [アカウント名 (Account Name)] を入力します。

3 [続行 (Continue)] をクリックします。

Cisco Software Central > スマート アカウントの作成

日本語 [変更] こんにちば

スマート アカウントの作成

会社用の新しいカスタマースマートアカウントのリクエスト、または別のユーザや会社の代わりにアカウントのリクエストするには、次の情報を入力します。

プロフィールの確認

シスコのユーザプロフィール情報が最新であることを確認します。必要に応じて [プロフィールを更新します。](#)

フルネーム:

電子メールアドレス:

Cisco ID:


電話:

企業/組織名: CISCO SYSTEMS DEMO TEST

アカウントの承諾

スマートアカウントのアクティベーションを承諾するのはあなたですか？ それとも他の方が承諾しますか？

☒ はい。私は自分の企業を代表してアクティベーションを承諾する権限を持っています

 スマートアカウントにより、シスコのソフトウェアライセンスやエンタイトルメントに対するユーザアクセスを、組織で管理および制御することが可能となります。このスマートアカウントのアクティベーションを承諾することにより、あなたが組織を代表して、アカウントの作成、製品やサービスのエンタイトルメントの管理、ライセンス契約やユーザのアカウントへのアクセスの管理を行う権限を持つことに同意したことになります。シスコのパートナーは、お客様に代わってのアカウントの作成を許可されない可能性があります。

☐ いいえ。アクティベーションを承諾するには、以下で指定した人に通知する必要があります

電子メールアドレス:

追加メッセージ:

アカウントID情報

アカウントドメイン識別子は一意にアカウントを特定するために使われます。デフォルトアカウントドメイン識別子に基づいています [詳細](#)

アカウントドメイン識別子:

アカウント名:

[続行](#)

この例では、スマートアカウント申請者と作成者が同じです

アカウント名は通常会社名を使用します。会社名を参照できるようにしてください。(例えば、シスコの場合は Cisco Systems, Inc)

Cisco Software Central (CSC)

スマートアカウントの申請 – アカウントドメインIDを編集(任意)

- 1 通常はメールアドレスのドメインIDを使いますが、変更が必要な場合はドメイン ID を編集できます。(任意 - 承認に数日かかります)
- 2 [デフォルトのアカウントドメイン識別子を編集します (Edit Account Identifier)] ダイアログ ボックスで、ドメインID情報を更新します。(トップレベルドメイン名を変更するか、プレフィクスを付けます)。10文字以上の理由を記入し、連絡先電話番号を入力します。
- 3 ドメイン ID 情報を確認して [OK] をクリックします。
- 4 アカウント名を確認し、必要があれば編集します。
- 5 [続行(Continue)] をクリックし、スマート アカウント 申請を完了します。(1つ前のスライドをご確認ください)

アカウントID情報

アカウントドメイン識別子は一意にアカウントを特定するために使われます。デフォルトアカウントドメイン識別子は、アカウントのアクティベーションを承認するために使われています [詳細](#)

• アカウント ドメイン識別子: gmail.com **編集**

• アカウント名: **CISCO SYSTEMS DEMO TEST**

続行

アカウントドメイン ID編集をした場合、承認プロセスを必要とするため、一旦プロセスは終了し、後日、シスコからメールで連絡させていただきます。
メールに返信いただき、承認に数日かかります。



デフォルトのアカウントドメイン識別子を編集します

アカウントドメイン識別子はトップレベルドメイン名に基づいており、アカウントを一意に識別するために使用します。デフォルトのアカウントドメイン識別子は、アカウントの有効化を認可するように指定された人の電子メールアドレスに基づいています。スマートアカウントの管理者である会社/組織は、アカウントドメイン識別子で使用するトップレベルドメイン名を使用する権利を有している必要があります。

次のデフォルトアカウントドメイン識別子は、2つの方法で変更できます:

- トップレベルドメイン名の変更
- トップレベルドメイン名へのプレフィクスの追加

次のデフォルトのアカウントドメイン識別子を編集する場合は、次のことに注意してください:

アカウントの有効化を完了するには、アカウント有効化の認可が指定された人がアカウントドメイン識別子のトップレベルドメインに一致するプライマリ電子メールアドレスを持つCisco.com IDを使用する必要があります。これができない場合は、有効化の際に、シスコによるアカウントドメイン識別子の確認と承認が必要です。

アカウントドメイン識別子や変更されたアカウントドメイン識別子に含まれるトップレベルドメインにプレフィクスを追加するには、有効化の際に、シスコによる確認および承認が必要です。

プレフィクスを入力 (省略可) | gmail.com | トップレベルドメイン名

• ドメイン識別子を変更する理由

10 文字以上 | 1000 残っています

• 電話番号 | +81 08

OK **キャンセル**

Cisco Software Central (CSC)

スマートアカウントの申請とセットアップ – 本社住所の入力

本社住所の入力画面に移ります。ここでは会社名と住所を入力します。(CCOIDで登録済の場合、自動入力されます。)

1 お客様情報の入力

- 会社名/組織名
- 国
- 市町村以降の住所
- 市町村名/都道府県名*
- 郵便番号*

注: 都道府県名*および郵便番号*が入力できない場合は、「NA」を入力してください。

2 [続行 (Continue)] をクリックします。

Cisco Software Central > スマートアカウントの作成

日本語 [変更] 個人におき

マイ スマート アカウント

会社情報(オプション)

この情報は現時点ではオプションですが、スマートアカウントの有効化を完了するにはこの情報が必要になります。ここで入力すると、スマートアカウントの有効化を承認する人が情報を確認し、必要に応じて変更できるようになります。

カスタマースマートアカウントの管理者である会社/組織の登録名と本社住所を入力します。指定された会社/組織は、スマートアカウントのドメイン識別子に使用されるトップレベルドメイン名を使用する権利を有している必要があります。

この情報の入力も強制されます。

トップレベルドメイン名:	cisco.com
* 社名または組織名:	Cisco Systems, Inc.
* 国:	1つを選択
* 住所:	企業の本社住所の番地
住所 2:	企業の本社住所の市区町村
* 市区町村:	会社の本社がある市
* 都道府県:	企業が本社を置く州/県/地域
* 郵便番号:	企業の本社住所の郵便番号

戻る 続行

2

**注: 該当する都道府県およびまたは郵便番号がない場合は「NA」と入力してください。

Cisco Software Central (CSC)

スマートアカウントの申請とセットアップ – 承認者および管理者を指名する

- 1 他の承認者を追加するか、または自身を承認者として指名します。
 - ・ 承認者とはスマートアカウントによる取引契約に合意する権限です。管理者もこの権限を持っています。
- 2 管理者を追加します。
- 3 [続行 (Continue)] をクリックします。

マイ スマート アカウント

アカウント承認者と追加のアカウント管理者をここで指名するか、アカウントの作成後にそれらを追加します。ここでユーザを指名すると、指定したアドレスに、ロールを引き受けてアカウントにアクセスするための手順を含む電子メールが送信されます。

アカウント承認者(オプション)

承認者は、特定の契約、たとえば、ライセンス契約を締結するための適切な権限を持っている必要があります。

1

承認者:

電子メールアドレスをカンマで区切って入力します

☐ 私は、アカウント承認者になります

追加のアカウント管理者(オプション)

お客様はこのアカウントの管理者になりことができますが、他の人を管理者として指名することもできます。 [詳細](#)

2

アカウント管理者:

電子メールアドレスをカンマで区切って入力します

戻る

続行

3

Cisco Software Central (CSC)

スマートアカウントの有効化- 電子メール

- 1 承認者に電子メールが送信されます。メール内の[Activate Smart Account]をクリックしてCSCにログインします。

Cisco Smart Account Activation – Account Name: [Redacted]

A provisional Smart Account named “ [Redacted] ” has been created for “ [Redacted] ”

Click the 'Activate Smart Account' link below to complete the activation process for this account.

1 [Activate Smart Account>](#)

Note: You will need to log in with a Cisco.com ID. If you don't have one, you will need to [register for a new user account](#).

Account Information

Account Domain Identifier:	[Redacted].jp
Account Name:	[Redacted]
Company Information:	[Redacted]
Account Administrators:	[Redacted] jp
Account Approvers:	[Redacted] jp
Person to authorize account activation and user access:	[Redacted] jp
Requested By:	[Redacted] jp

Cisco Software Central (CSC)

スマートアカウントの申請とセットアップ – 入力情報を確認しアカウント作成する

- 1 スマートアカウント情報、スマートアカウント管理者/承認者を確認します。
- 2 [アカウントを有効にする (Activate Smart Account)] をクリックします。

マイ スマート アカウント

スマートアカウントを有効化する前に、次の情報が正しいことを確認してください。

1

アカウント情報

アカウントドメイン識別子:	o.com
アカウント名:	Japan UAT test
会社情報:	Cisco Systems, Inc. 赤坂 9丁目7-1 港区, 東京都, 107-0052, JAPAN
追加の管理者:	o.com)
アカウントの有効化とユーザアクセスを認可する人:	o.com)

2

リクエスト作成者: Vineela Vakicherla (vvakiche@cisco.com)

戻る

スマートアカウントを有効にする

Cisco Software Central (CSC)

スマートアカウントの申請とセットアップ – 作成完了確認ページ

1 スマートアカウント有効化完了の確認ページが表示されます。

2 [Cisco Software Central] をクリックし、スマートアカウントを確認します。

マイ スマート アカウント



スマートアカウントの有効化が完了しました
アカウントのセットアップ プロセスが完了しました。確認の電子メールがまもなくお客様に送信されます。

アカウント情報

アカウントドメイン識別子: [redacted] com

アカウント名: Japan UAT test

会社情報: Cisco Systems, Inc.
赤坂 9丁目7-1
港区, 東京都, 107-0052, JAPAN

追加の管理者: [redacted] com)

アカウントの有効化とユーザアクセスを認可された人: [redacted] com)

リクエスト作成者: [redacted] .com)

はじめに

2 [Cisco Software Central](#) アカウント使用の開始方法:

- アカウントのプロパティの表示および管理
- アカウント管理者とアカウント承認者の追加
- バーチャル アカウントの管理
- 法的契約書への同意

Cisco Software Central (CSC)

スマート アカウントの合意書

- 1 CSC(software.cisco.com) で、[スマートアカウントの管理(Manage Smart Account)] をクリックします。
- 2 [アカウントの合意書] をクリックし、Pendingになっている合意書(スマートライセンス)をクリックします。
- 3 ポップアップした契約に合意し、ステータスが[Signed]となったことを確認します。

Cisco Software Central

日本語 [変更] | こんにちは | Cisco Demo Smart Account

注文 | ダウンロード & アップグレード | プロビジョニング | ライセンス | 管理者

ダウンロード & アップグレード

ネットワークプラグアンドプレイ

ライセンス

注文

管理

スマートアカウントの管理

アカウントのプロパティ | バーチャルアカウント | ユーザ | アカウントリクエスト | **アカウントの合意書** | イベントログ

アカウントの合意書

日付	合意書	ステータス
Mar 04, 2017	スマートライセンシング	Pending

スマートアカウントの管理

アカウントのプロパティ | バーチャルアカウント | ユーザ | アカウントリクエスト | **アカウントの合意書** | イベントログ

アカウントの合意書

日付	合意書	ステータス
Mar 04, 2017	スマートライセンシング	Signed Mar 05, 2017

付録

カスタマーサポートと情報サイト サポート窓口

①スマートアカウント・スマートライセンスの作成・利用方法に関するお問い合わせ

スマートライセンスについて問題や質問がある場合は、以下のシスコの標準プロセスを使用してケースを開くことができます。



[Online](#)

* ログイン後、画面右上の「日本語」を選択ください



japan-tac@cisco.com
[Email](#)



0120-608-802
[Phone](#)

・スマートアカウント・スマートライセンスのサポート時間（日本語サポート）

シスコ営業日 平日 9:00 – 17:00

※スマートライセンス・アカウントに関するお問い合わせは原則Severity 3 または 4 対応となります（サービス断・ネットワークダウンではないため）

※英語サポートは 24x7 にてご利用いただけます licensing@cisco.com までお問い合わせください。

②スマートアカウント・スマートライセンス情報サイト

説明資料や日本語ガイドを「シスコ スマート ソフトウェア ライセンシング 日本語資料掲載サイト」でご確認ください。

http://www.cisco.com/c/ja_jp/products/cloud-systems-management/smart-software-licensing/index.html



スマート ライセンス対応製品

- 次の製品ファミリが2017年5月時点でスマート ライセンス対応になっています。
- Smart Only**製品はスマート ライセンスのみ販売しますので、購入するにはスマート アカウントが必須です。

最新ステータスはこちらをご確認ください。

- 最新対応リスト: <https://communities.cisco.com/docs/DOC-71451>
- 最新対応SKU: <https://communities.cisco.com/docs/DOC-59102>
- 最新ロードマップ: <https://communities.cisco.com/docs/DOC-71440>



Product Family (click link for details)	Smart / Legacy	Min Version
Adaptive Security Virtual Appliance (ASAv)	Smart Only	9.3.2
Aggregation Services Router (ASR 901/902/903)	Both	IOS XE 3.15
Aggregation Services Router (ASR 920)	Both	IOS XE 3.13-6+
Aggregation Services Router (ASR 9000)	Both	IOS XR 5.2.2
Aggregation Services Router (ASR 9000 eXR)	Both	-
Aggregation Services Router Next Gen (ASR-NG)	Smart Only	IOS XR 5.4
Cisco 5921 Embedded Services Router (ESR)	Both	IOS 15.1
Cisco Cloud Services Router 1000v (CSR1Kv)	Both	IOS XE 3.13
Cisco 340/345 Router	Smart Only	1.0.01.16
Cisco Patient Connect	Smart Only	1.5
Cisco Policy Suite (CPS)	Smart Only	10
Converged Broadband Router (CBR-8)	Smart Only	IOS XE 3.15
Evolved Programmable Network Manager (EPN-M)	Both	2
Firepower 2100	Smart Only	6.2.1
Firepower 9300 and 4100 Security Services Provider (SSP 3RU)	Smart Only	All
Firepower (Management Center, Threat Defense, NG)	Both	6.0.1
Firepower Services ASA 5500-x	Both	6.0.1
Identity Services Engine (ISE)	Both	2.1
Industrial Network Director	Both	-
Integrated Services Router - Virtual (ISRv)	Both	IOS XE 3.13
Network Services Orchestrator (NSO)	Smart Only	4.2
Nexus 7000	Both	8.0
Prime Infrastructure	Both	3.1
Prime Virtual Network Analysis Module (vNAM)	Both	6.2
Stealthwatch Learning Network (SLN)	Smart Only	1.0
Unified Computing System (UCS Central)	Both	1.4
Virtual Cisco Unified SIP Proxy (vCUSP)	Smart Only	9.0
WAN Orchestration (WAE)	Both	6.4.3
WLC (virtual, 5520, 8540)	Both	8.2

